

政策シート 政策名 05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名 01 斎場費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
------------------------	-----------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。
------------------------	---

基本政策 02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

送る方に安心感と安らぎを与え、悲しみを癒す雰囲気を持った施設とする。また、心身にハンディキャップを持った人々を含め、広い対象の人が利用できる施設とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	714,278	1,633,617	398,279	468,886		
決算	702,572	1,626,021	383,304			
人件費(報酬等)(A)			5	188		
人件費(人工分)(B)	21,000	21,000	26,600	26,600		
年間経費(予算又は決算+A+B)	723,572	1,647,021	409,909	495,674		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- ・全ての斎場で、新型コロナウイルス対策を行い、滞りなく火葬業務を実施することができた。
- ・火葬設備や斎場施設の保守管理、施設の改修・整備を行うとともに、存続が決定している雄踏斎場の立地等に対する影響調査を実施した。
- ・浜松・雄踏再整備においては、都市計画法の手続きを進めるとともに、PFI手法導入にともなうアドバイザー業務契約の締結した。雄踏斎場の境界確認や地質調査を実施。浜北斎場のバス待機場の用地買収を実施した。
- ・火葬予約システムの運用を開始するとともに、システムを利用する利用者と協議を行い、修正や改善を改善を実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
-------------------	------

- ・斎場施設が休止することの無いよう運営維持管理を行い、円滑な運営ができています。
- ・斎場再整備事業における必要な法令手続きや調査等の業務を行い、計画通り事業が進捗している。
- ・火葬予約システムが本格的に運用され、予約業務の迅速等、斎場利用者及び担当職員の利便性が向上した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	斎場運営事業	—	—	—		285,037	281,529	0.5				8
2	斎場施設整備事業	—	—	—		93,810	93,810					
3	斎場再編・整備事業	—	—	○		113,306	90,026	3.3				180
4	斎場デジタル運営経費	—	—	—		3,521	3,521					
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						495,674	468,886	3.8				188

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 斎場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1972	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例・浜松市佐久間・水窪霊きゆう自動車条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	241,316	244,573	280,796	281,529		
	決算	230,955	239,603	271,843			
	国・県支出						
	市債						
	その他	43,021	41,769	44,122	42,969		
	一般財源	187,934	197,834	227,721	238,560		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)			5	8		
	人件費(人工分)(B)	3,500	3,500	3,500	3,500		
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		234,455	243,103	275,348	285,037		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 施設の維持管理を行う。
- ・浜松斎場運営事業
 - ・浜北斎場運営事業
 - ・天竜斎場運営事業
 - ・雄踏斎場運営事業
 - ・三ヶ日斎場運営事業
 - ・春野斎場運営事業
 - ・佐久間・水窪斎場運営事業



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全ての斎場で、新型コロナウイルス対策を行い、滞りなく火葬業務を実施することができた。
- ・浜松・浜北・雄踏斎場について、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・引き続き、全ての斎場で新型コロナウイルス対策を実施する。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜北斎場拡張整備事業の完成により、2022.4に火葬炉4基が供用開始となり、火葬の受入れ能力が高まった。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に要する物品を整備し、施設内での感染防止に努めた。
- ・浜松斎場、浜北斎場及び雄踏斎場の内部統制資料を作成したことにより、リスクの発生を回避する対応行動を整理した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを継続する。
- ・他都市の事例等を参考に、残骨灰処理業務委託の業務内容や契約方法の見直しに着手する。
- ・各斎場の利用件数を踏まえ、天竜、三ヶ日、春野、佐久間・水窪斎場の火葬業務委託の業務内容の見直しに着手する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 施設の運営及び維持管理を行う。
- ・浜松斎場運営事業
 - ・浜北斎場運営事業
 - ・天竜斎場運営事業
 - ・雄踏斎場運営事業
 - ・三ヶ日斎場運営事業
 - ・春野斎場運営事業
 - ・佐久間・水窪斎場運営事業

事業シート (事業名) 02 斎場施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1972	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	78,531	143,518	79,797	93,810		
	決算	77,784	141,230	77,324			
	国・県支出						
	市債						
	その他	58,000	114,000	64,000			
	一般財源	19,784	27,230	13,324	93,810		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		77,784	141,230	77,324	93,810		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 施設の改修・整備を行う。
- ・浜松斎場施設整備
 - ・浜北斎場施設整備
 - ・天竜斎場施設整備
 - ・雄踏斎場施設整備
 - ・三ヶ日斎場施設整備
 - ・春野斎場施設整備
 - ・佐久間・水窪斎場施設整備



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・火葬炉設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。
- ・存続が決定している雄踏斎場について、立地等に対する影響調査を実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後の火葬体数の増加や施設の老朽化などの課題に対応し、中長期的に安定した施設運営ができるよう必要な改修、整備を行う。
- ・増築した浜北斎場の、棺搬入口に庇を設置し、利便性の向上を図る。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 施設の改修・整備を行う。
- ・浜松斎場施設整備
 - ・浜北斎場施設整備
 - ・天竜斎場施設整備
 - ・雄踏斎場施設整備
 - ・三ヶ日斎場施設整備
 - ・春野斎場施設整備
 - ・佐久間・水窪斎場施設整備

事業シート (事業名) 03 斎場再編・整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来の火葬体数の増加や斎場施設の老朽化への対応及び公共資産の適正保有の観点から、「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2014	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	394,431	1,245,526	33,974	90,026		
	決算	393,833	1,245,188	30,639			
	国・県支出						
	市債						
	その他		1,175,700				
	一般財源	393,833	69,488	30,639	90,026		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)					180		
人件費(人工分)(B)		17,500	17,500	23,100	23,100		
人工	正規	2.5	2.5	3.3	3.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		411,333	1,262,688	53,739	113,306		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松斎場再整備			目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
			実績	調査等	調査等	都市計画決定等			
浜北斎場拡張整備			目標	設計・建設工事等	建設工事	供用開始			
			実績	建設工事	建設工事	供用開始			
雄踏斎場再整備			目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
			実績	調査等	調査等	都市計画決定等			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	01	000605000	03	市民生活課	佐藤 一郎	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松、浜北及び雄踏斎場の調査・整備等を行った。

- ・浜松・雄踏斎場再整備：関係者との協議・調整、都市計画法手続(都市計画区域の決定、事業認可)を行った。
- ・雄踏斎場再整備に係る土地について、境界確認及び地質調査を行った。
- ・浜北斎場拡張整備：バス待機場用地買収をした。
- ・PFI手法導入に伴う斎場再整備事業に係るアドバイザー業務契約の締結(2021～2023年度)を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場の整備に必要な手続を行った。
- ・浜北斎場については、拡張整備事業が完了し、2021年4月1日に供用開始し、バス待機場用地を買収した。
- ・浜松・雄踏斎場再整備については、都市計画法に基づく、都市計画区域の決定を行った。
- ・雄踏斎場の再整備について、雄踏地区自治会連合会と覚書を意見交換を締結した。
- ・PFI法による手法導入のため、斎場再整備事業に係るアドバイザー業務契約を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松及び雄踏斎場の再編事業については、必要な手続を行うとともに、関係自治会などへの説明会や意見交換を行い、住民意見の収集・分析など継続して行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場再編等の事業進捗や具体化に伴い、関係自治会への説明事務や用地買収に関する事務手続き等、業務の増加が見込まれる。
- ・浜松及び雄踏斎場の再整備については、PFI法に基づく民間資金等の活力を導入する手法で行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

- ・浜松斎場・雄踏斎場：PFI法に基づく手法による事業実施のための準備(PFI等審査委員会の開催、地元調整、資産経営推進会議等の庁内調整、要求水準書の作成、実施方針の公表、特定事業の選定等)
- ・雄踏斎場再整備：近接拡張予定地の用地買収

事業シート (事業名) 04 斎場デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

火葬予約にあたり、電話・FAXによる相談・受付等を行っていたが、インターネットによる予約システムを導入し、市民の利便性向上及び職員の作業時間軽減を実現するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			3,712	3,521		
	決算			3,498			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			3,498	3,521		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,498	3,521		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
03

基本政策
02

政策
05

予算費目
01

所属コード
000605000

事業
04

(担当課)
市民生活課

(責任者)
佐藤 一郎

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・火葬予約システムを構築し、2021年3月から運用を開始した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・火葬予約システムの運用を開始するとともに、システムを利用する利用者と協議を行い、修正や改善を改善を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・火葬予約システムの運用開始に伴い、葬祭事業者(市民)は、市内6斎場の予約状況の閲覧、予約がいつでも可能となり、利便性が向上した。

・電話の聞き間違い等の事務処理ミスを防ぐことができるとともに、電話対応が無くなることにより、職員が他の業務を中断することなく従事することができるようになった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後予定されている区の再編、浜松斎場と雄踏斎場の再整備及び法改正等があった場合に火葬予約システムの改修や運用方法の変更を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・火葬予約システムを継続して運用する。

政策シート 政策名 05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名 02 墓園費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
------------------------	-----------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。
------------------------	---

基本政策 02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	181,132	160,159	151,199	158,528		
決算	151,878	159,300	125,266			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	18,900	18,900	18,900	18,900		
年間経費(予算又は決算+A+B)	170,778	178,200	144,166	177,428		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
天竜区船明地区墓地の整備済墓所区画数	区画	目標	2628	2628	2628	2628	2628	5,799
		実績	2628	2628	2628			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営、樹木管理工事等の施設維持を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の廃墓に向けた手続きを進めた。
- ・中沢墓園の擁壁について、施設点検の結果を踏まえて修繕工事を実施した。
- ・中沢墓園について、不明墓所対策の一環として区画所有者調査を実施した。
- ・2020年度に改葬及び整備を完了した三方原墓園いろは地区所有者不明墓所区画について、再貸付を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。

・船明墓地については、整備済区画数で現時点での墓地需要を満たしていることから、貸付状況を踏まえ今後の整備方針を検討する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	墓園等整備・管理事業	—	—	—		177,428	158,528	2.7				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						177,428	158,528	2.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 墓園等整備・管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1982	-	一般会計	自治事務(その他)	墓地、埋葬等に関する法律、墓園・墓地条例、納骨堂条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	181,132	160,159	151,199	158,528		
	決算	151,878	159,300	125,266			
	国・県支出						
	市債						
	その他	157,579	111,694	111,678	121,216		
	一般財源 一般会計繰入金	-5,701	47,606	13,588	37,312		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,900	18,900	18,900	18,900		
人工	正規	2.7	2.7	2.7	2.7		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		170,778	178,200	144,166	177,428		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
天竜区船明地区墓地の整備済墓所 区画数			目標	2628	2628	2628	2628	2628	5799
			実績	2628	2628	2628			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営、樹木管理工事等の施設維持を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の廃墓に向けた手続きを進めた。
- ・中沢墓園の擁壁について、施設点検の結果を踏まえて修繕工事を実施した。
- ・中沢墓園について、不明墓所対策の一環として区画所有者調査を実施した。
- ・2020年度に改葬及び整備を完了した三方原墓園いろは地区所有者不明墓所区画について、再貸付を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。
- ・共同墓地1箇所を廃墓し、地域の要望に応えることができた。
- ・三方原墓園根いろは地区の所有者不明墓所の整備工事が完了し、予定通り再貸付を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・民間墓地の開設や墓終いの傾向など、市民のお墓に対する需要変化を踏まえ、市営の墓園・墓地、納骨堂の今後の整備方針について検討が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・墓園、納骨堂ともに、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・船明墓地の未整備区画(4.5期)や納骨堂の増設の必要性について、既存区画の貸付状況や納骨堂の需要、民間墓地の整備状況等を踏まえ、今後の整備方針を検討する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営 樹木管理工事等の施設維持
 - ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営 焼骨収蔵受付及び収蔵
 - ・共同墓地の樹木管理工事等の施設維持及び廃墓手続き
 - ・船明墓地未整備区画(4.5期)の見直しや納骨堂増設の必要性等、市営墓地・墓園、納骨堂の整備方針の検討
- 【参考: 船明墓地の整備状況】
2011年度から段階的(第一期～第五期)に整備を行う。2013年度までに第三期整備まで終了。
総区画予定数 5,799区画(うち整備済み2,628区画)